平成２６年度　政務活動費　先進都市調査報告書

会派名	新緑会
議員名	早坂　博　　羽立　秀光
調査実施年月日	平成26年11月19日(水)
調査先　自治体名等	兵庫県神戸市
調査項目	災害受援計画について
調査目的	災害受援計画の具体的内容及び取り組み内容についての調査
報告内容 実施したこと	1　視察先(市町村)の概要 人口　：　1,536,203　人　　行政面積　：　553.12　㎢ 2　視察内容 ・災害受援計画について
感想（まとめ） 本市へ生かせること等	神戸市では、平成7年に発生した阪神・淡路大震災及び平成23年に発生した東日本大震災時に応援を受ける側(受援者)及び応援をする側(支援者)として得た経験をもとに、支援を要する業務や受け入れ態勢などを事前かつ具体的に定めた「神戸市災害受援計画」を平成24年度に策定しました。同受援計画は、神戸市地域防災計画の下位計画として位置付けられており、応援を受ける側の業務を対象として、「応援要請」「応援受入」「応援終了」の3つの流れを中心に定められています。具体的には、受援対象業務の選定から始まり、応援受入本部の設置、直下型地震を想定した業務フローの作成など幅広い業務で細部まで計画が策定されています。 特徴的な取り組みの一つとして、受援態勢を明確にするため「受援シート」が作成されました。この受援シートとは、情報収集体制や指揮命令系統体系、現場環境、民間との協力関係などが一目でわかるようになっているもので、応援を受ける場合の態勢がよりスムーズに進むよう工夫がされています。また、平成25年12月にはこの受援シート等を活用した、より実践的な訓練が行われ、問題点・課題点を洗い出し、非常時に備え、より実態に即した見直しが検討されるとのことです。 日本各地では、防災協定などの取り組みは行われていますが、「応援を受け入れる側」の態勢を整え、受け入れた応援をより効果的に活用するという取り組みは神戸市ならではの取り組みだと思います。 災害は、本市でも十分発生する可能性があり、神戸市の取り組みは非常に参考にすべき点が多いと感じました。